

# 地区連合会の活動紹介

野田市自治会連合会は、17の地区連合会で組織されています。今回は、新木間ヶ瀬地区連合会の活動を紹介します。

## ◆新木間ヶ瀬地区連合会◆

新木間ヶ瀬地区連合会加入自治会（2団体）

羽貫1自治会

羽貫3自治会

### ふれあいが実感できる地区を目指して ～復活した地区の催し～

新木間ヶ瀬地区連合会 会長 鷲尾真由美  
〔野田市自治会連合会 副会長：羽貫3自治会会長〕

新木間ヶ瀬地区連合会は、木間ヶ瀬地区連合会から分離独立し、平成27年度に発足した小さな連合会です。世帯数は約550世帯、関宿支所（いちいのホール）の北東から東にかけて広がり、農地と住宅地が混在しているのどかな場所です。支所、小学校、スーパー、ホームセンター、大型ドラッグストア、あさひバスの停留所などが徒歩圏にあり、まめバスの停留所は区域内に6箇所もあります。旧関宿町のほぼ真ん中の地区です。加入自治会は2つですが、どちらの自治会も就任して22年になる、後任が見つからない自治会長が頑張っています。地区の運動会、お楽しみ会、防犯などは、以前に長く運営に携わって積み重ねた経験を活かし、この地域にふさわしい形で展開しています。

まず、地区運動会ですが、「羽貫地区運動会」として学区の小学校で開催し、毎年約300人の老若男女が参加していましたが、台風とコロナ禍で4年間開催できませんでした。令和5年10月29日(日)、装いも新たに5年ぶりに「羽貫地区レクリエーション大会」として復活、天候に左右されない室内でのレクリエーションを計画し、関宿複合センターにて、輪投げ、ミニボーリング、玉入れ、宝探しの4つのゲームを子どもから高齢者まで一緒に楽しみました。子ども達の弾ける笑顔と、昔を懐かしんでプレイする高齢者の方々の嬉しそうな表情がまぶしいレクリエーション大会でした。豪華賞品や参加賞をもらって歓声を上げた後は、隣接の公園に呼んであったキッチンカーのたこ焼き、焼きそば、ポテト、唐揚げなどでお腹を満たした秋のひとときでした。



輪投げを楽しむ皆さん



観客も参加したマジックショー

同じ会場で12月3日(日)に開催された「羽貫地区お楽しみ会」も4年ぶりでしたが、なかなか盛況でした。マジックショー、祖母とお孫さんの民謡、91歳の方が歌ったデュエット、サクソ演奏、沖縄の三線バンド、大正琴、玄人はだしの歌など、バラエティーに富んだ出演者で盛り上がりました。出演者全員に記念品が渡され、最後の締めは若く美しいプロ歌手の歌。観客は満足気でした。このお楽しみ会は地区以外の方の出演観覧も歓迎しています。

防犯で特筆すべきは、羽貫3自治会で18年間続けている小中学校対応の下校時見守り活動です。最盛期は約40名でしたが、現在は12名で細く長く続けることを大切にして取り組んでいます。

新木間ヶ瀬地区は、小さいことをプラスに替え、人と人のふれあいが実感できるホッとさせる地区を目指して今日も奮闘しています。そして、こうした事業活動を通して生まれたつながりが、災害時の助け合いに活かされること、近い将来にこの地区や自治会を担う人の登場に結び付くことを願っています。



## ◆防災部会が発足しました◆

野田市自治会連合会の事業活動の一環として「部会」があります。今までにも「ごみ問題の改善について」「連合会の研修事業の見直しについて」の2つの部会が設置され、それぞれ検討を行い、その結果を事業活動へ反映させています。

今年度は、防災についての部会を発足させました。齋藤洋助常任理事（北部地区連合会会長・春日町第三自治会会長）にリーダーをお願いし、参加希望者を募りました。その結果、11の地区連合会、14自治会から、自治会長や自主防災会関係者などを中心に19名の方々の申し込みがあり、五味良仁会長をオブザーバーに迎えて12月16日土曜日に第1回防災部会を開催しました。

防災には大きく分けて水害対策と地震対策がありますが、今年度は水害について取り組んでいます。万一の水害時の市内各地域の浸水状況を確認し、避難を必要とする住民がどこへ避難しようと考えているかの把握をできる限り行い、そのデータから、市内全体で地域ごとに予想される状況に合わせた対応をとることが必要ではないかと考えています。



水害時に市が推奨する避難所は多いとは言えないため、浸水の心配がない地域の方や浸水の程度が少ない地域の方は、できるだけ垂直避難を心がけていただき、浸水の程度が大きい地域の方々が安全な避難場所へ避難できるような、市民相互に助け合う必要を感じています。連合会として、地区ごとの連携も視野に入れて今後も取り組んでいく予定です。

### ※能登半島地震への義援金について※

野田市自治会連合会は、13年前の東日本大震災の際に連合会として各自治会から義援金を取りまとめましたが、能登半島地震につきましては、すでに各種団体や企業が義援金を集めていることもあり、お願いされる世帯側としては、重複して支払うことになる世帯もあり、困惑することが考えられるため、今回は、野田市が市報や市ホームページで協力をお願いしている、日本赤十字社の義援金に一本化することになりました。（2月5日開催予定の理事会の議案でしたが降雪のため中止になり、書面表決にて承認されています）

自治会で義援金について取り組むか取り組まないかは自由であり、取り組む場合の方法も自治会の裁量に任せられます。（各世帯へお願いする、自治会費から一括で用意するなど）

自治会でまとめて義援金の協力をする場合は、市役所生活支援課、関宿支所および各出張所の窓口へ持参してください。領収書が発行されます。

### 『TOKATSU 自治会フォーラム』に参加

令和6年1月13日（土）に柏市で東葛地域7市の自治会や町内会等の情報交換会として

『TOKATSU 自治会フォーラム』が開催されました。野田市自治会連合会から正副会長3名が出席、市民生活課コミュニティ係から2名の職員がオブザーバーとして出席しました。他の市の自治会活動の様子を知ることができ、どの市にも前向きに取り組んでいる人々がいることに励まされました。今回初めての開催でしたが、今後も続けていってほしいと思います。

### 編集後記

春が巡ってきました。つらいことや悲しいことがあっても、朝が来て春がやってきます。被災地の皆様の日でも早い生活再建を祈ります。私たち今できることに取り組みましょう。やっとできた第42号をお届けします。

担当者 鷲尾真由美 鈴木 勇  
岡田 武治 福田 正